

おがやまけんしゃがいふくし

# 岡山県社会福祉

2024

春

No.656



「まちの生きづらさを語り合う地域と福祉のコミュニティフォーラム」の様子（該当記事P.6～7）

特集  
special feature

## 岡山県福祉人材センター 介護アシスタント促進事業 ～介護アシスタントのみなさんに聞きました～

### CONTENTS

県内地域福祉活動の取組レポート	4
県社協ニュース	6
赤い羽根共同募金	11
「ふくし」の仕事人たち	12



社会福祉法人  
岡山県社会福祉協議会  
URL: <http://www.fukushiokayama.or.jp>  
Facebook @fukushiokayama  
Instagram @okayamakenshakyo



# 岡山県福祉人材センター

## 介護アシスタント促進事業

### 介護アシスタントの

みなさんに聞きました



福祉人材センターでは、令和5年度から、「介護アシスタント促進事業」に取り組んでいます。これは、これまで介護職員が担ってきた業務内容を洗い出し、介護の補助的な周辺業務を介護アシスタントが行うことで、専門的な知識や技術が必要な介護業務に介護職員が専念できる環境を整備するものです。

この取組により、介護の担い手不足解消や介護サービスの質の向上を目指します。そのみならず、地域の元気な高齢者や主婦の方などを介護アシスタントとして雇用することで、地域住民の就労の実現、社会参加を推進し、生きがいづくりや健康づくりにつなげていくことも期待しています。

今回は、この事業を通して社会福祉法人清桜会 特別養護老人ホームあさひ園で働き始めた難波さん、平松さんにお話を伺いました。



皆さんに「ありがとう」と言ってもらえて、社会に立っていると実感できます。

難波 靖男さん(82歳)



利用者さんのことをもっと理解し寄り添えたらいいなと思っています。

平松 恵美さん(47歳)

#### \*1 周辺業務とは

食事の配膳や片付け、清掃、洗濯物たたみ、シーツ交換など、資格や経験がなくても家事や仕事経験を活かして行える介護の補助的な業務のことを指します。

#### \*2 介護アシスタントとは

福祉施設や事業所等において、介護職員をサポートする職種を指し、身体介護などの専門的な業務以外の補助的な業務を行います。呼称は、「介護アシスタント」のほか、「介護助手」「ケアアシスト」「生活支援員」「清掃員」など事業所によってさまざまです。

### 介護アシスタントになったきっかけは？

(難波さん)

昨年9月頃までやっていた自営業を引退し、家でのおんぼり過ごしているうちに何かできることがないかと思い始めました。「どこかで少しでもいいから働いたら？その方が健康にもいいから」と家族の後押しがあり、たまたま新聞で福祉人材センターが開催しているミニ就職相談会の記事をみて参加しました。

82歳という年齢の壁があり、なかなか就職は難しいと思いましたが、年齢不問の介護アシスタント求人を紹介してもらい、ご縁があり、あさひ園で働くことになりました。

(平松さん)

趣味で公民館のヨガ教室に通っていて、介護アシスタント募集チラシを手に取りました。出産後10年ほど仕事をしておらず、時間帯などの勤務条件が合わないこともあり仕事に就くことができませんでした。チラシを見ると、子育て中でも空いた時間で働けるという内容だったので応募しました。

### 施設でどのような仕事をしていますか。

(難波さん)

感染対策で全部屋及び共有スペースに空気清浄機付きの加湿器がおり、メンテナンス・給水・フイ

ルター清掃を行っています。それから、お掃除ロボットの汚水処理・ごみ処理や共有スペースの清掃、ドアノブや手すりなどの消毒作業を行っています。



お掃除ロボットの給水・メンテナンス



加湿器のメンテナンス



消毒作業



加湿器の給水

(平松さん)

入所の利用者さんの居室掃除、廊下掃除、トイレ掃除、食器洗い、洗濯物の汚れ落とし、シーツ交換、手すり消毒、パッド補充、11時半からはデイサービスでおやつや飲み物の希望を聞いて用意をしたり、食事の配膳下膳をしています。



## 施設でどのような働き方をしていますか。

(難波さん)

週3日、9時30分から12時までの2時間半勤務をしています。

(平松さん)

週3〜4日、9時から14時までの5時間勤務しています。子どもがいるので土日祝は休み、ヨガ教室に行く日もお休みをもらっています。

## 働き始めて生活や気持ちに変化はありましたか。

(難波さん)

働くことは元気の源。仕事がある

ということは、自分のいろいろな面で力になっていきます。社会の一員として何かの役に立つことは、生きがいにつながると思う感じがしています。

(平松さん)

利用者さんと同じ時間を過ごすようになって、もっと理解できたり寄り添えたりできたかなと思っています。家庭内では、子どもからしたら私が働きに出ることは初めてなので、「どんな仕事しているの?」と関心をもってくれます。

## この仕事のやりがいとは?

(難波さん)

皆さんに「ありがとう」と言ってもらえることが大きな力になりますし、社会の役に立っていると実感できます。

(平松さん)

いろいろな場面で利用者さんや職員が「ありがとう」と声をかけてくれます。1日のうちにこんなにも「ありがとう」と言われたのは初めてです。

働き始めた頃は、私のことが誰か分からないので反応がない利用者さんが多かったのですが、最近になって顔を覚えて話かけてくださるようになってきたことに喜びを感じます。



社会福祉法人清桜会  
特別養護老人ホームあさひ園  
園長 工藤さん・入所部課長 古市さんにもお話を伺いました。



園長 工藤さん



入所部課長 古市さん

## アシスタント導入の経緯

洗濯専任の方はいますが、本格的に介護アシスタントを導入するのは初めてでした。介護アシスタント促進事業を知り、導入マニュアルの冊子をみて周辺業務の切り分けを行いました。マニュアルの中にはこんな業務もアシスタントにお願いしてもいいんだという驚きがありました。入浴後のドライヤーかけや居室掃除など、ご利用者さんの身の回りのことは、すべて介護職が行う仕事という認識でしたが、この事業をきっかけにアシスタントを導入してみよう

と施設内で検討しました。

現在は4名のアシスタントが就労しています。アシスタントが働ける時間帯とその時間帯に働いてもらうとしたら何の業務があるかを各部署で組み立て、安定的に周辺業務をしてもらおう工夫をしています。

また、アシスタントそれぞれに相談担当者をつけて、仕事なんでも聞ける環境をつくっています。

## 導入後の効果

ケアや話し合いの時間がとりやすくなりました。職員からは、「アシスタントさんがいてくれてよかったです」という声をよく聴きます。また、アシスタントの方がご利用者さんに声をかけてくれることで、ご利用者さんにとってもコミュニケーションをとる時間が増えるメリットになっています。

これからもチームの一員として頑張っていたきたいと思います。

難波さん、平松さんの他にも、21名の方がこの事業をとおして、介護アシスタントとして活躍されています。ホームページでは、アシスタントの方や施設職員の声を掲載しています。ぜひご覧ください。



## お問い合わせ先

岡山県福祉人材センター

☎086-226-2888



中央：柚木幸子代表

(取材者) ノートルダム清心女子大学  
人間生活学部人間生活学科  
3年生 松田千優さん(左)  
4年生 福尾幸恵さん(右)

今年度は県内で福祉を学ぶ現役大学生が取材・レポートします!

## 県内地域福祉活動の取組レポート

### 特定非営利活動法人 オカヤマビューティサミット

「尊重する。寄り添う。あきらめない。」  
女性の笑顔の伴走支援者として



#### 活動に至ったきっかけ

令和6年4月1日、困難な問題を抱える女性への支援に関する法律が施行されました。新法には、先駆的な女性支援を実践する「民間団体との協働」といった視点も取り入れられました。

今号では、約10年前に女性支援を中心とした岡山の地域活性を目的にNPO法人を立ち上げ、現在、困難を抱える女性の問題解決をサポートするため、24時間体制の相談受付や物資支援、就労支援・美容技術取得支援、シエルター保護やイベント開催等を行っているオカヤマビューティサミットの柚木幸子代表にお話を伺いました。

私自身が中卒で就労することになり、手に職をということで始めたエステの仕事では、ターゲットがほぼ女性。皆さん、肌や身体が悩みで来るけれど、実はそれ以上に仕事や家庭でのストレスがあるんです。エステでは「心体美」が基本で、心理カウンセリングの勉強もします。そうやって女性の外側だけでなく内面にも携わる中で、女性の笑顔を大事にしたい、と思って活動しているうちに、いつの

#### 活動の中で感じた変化

間にか女性支援にたどり着いたという感じですが。これは「女性が笑顔に。子どもが笑顔に。社会が笑顔に。」という私たちの団体の理念にもつながります。

ここ最近では、若年女性からの家庭内での性被害の相談が増えました。ジャニーズの性加害問題が浮き彫りになったことが背景にあります。自分がされていることがおかしいことなんだ、声をあげてもいいんだという風潮になったのだと思います。若年層からの相談が増えたことで、私たちも若い女性の声をもっと知りたいと思い、先日もノートルダム清心女子大学内で「イドバタカイギ」を開催しました。実はお二人とはそこでもお会いしましたね。その時にいただいた学生さんたちからの学びも次につなげていきたいと考えています。

#### 4月1日施行の新法について

これまでの女性支援は戦後に制定された「売春防止法」に基づいた「婦人保護事業」でした。戦後八十年近く経って世の中がこれだ

け変わっているのに、法律は全然変わっておらず、やっと実情に合ってきたという感じですが。新法によって私たちの活動が変わることはありませんが、関係機関の名称が「婦人」から「女性」に変わっただけでも若年女性が相談しやすいかなるのでは、と期待しています。

また、新法では人権の尊重についても明記されています。日本では長い間、家長制度によって女性の人権が抑えられてきました。女性の女性としての人権ではなく、人としての人権、権利をちゃんと擁護してもらえないような世の中になつてほしいと思います。



ノートルダム清心女子大学内で行った「イドバタカイギ」の様子

## 今後について

出口支援で就労につながったあとについて考えています。自立の先の自律です。この自律とは心のケアだと思っています。虐待やDVでされたことは、ずっと心に残って(トラウマ)、物理的に離れたとしても、何かの拍子にポンド出てくるんです。だからしんどいよる二次被害も本当に多いですよ。そうなったときに助けてと言ってもらいたい。困ったときに困ったと言えないこと。私たちには携わった責任があります。安心できて安全である場所として継続してフォローをしています。

## 取材を終えて

「女性の女性としての人権ではなくて人としての権利、権利を擁護してもらえよう世の中に」という柚木さんの言葉が印象に残っています。権利とは本来、性別に関係なく平等にあつて然るべきものですが、男女間の賃金格差、管理職の女性割合の低さなど、現在も課題があります。女性が生きやすい世の中を実現するために、まずは現代を生きる女性である私たちが、女性の権利問題にしっかりと関心を持つことが大切なのだと思います。(福尾)

取材を通して、時代が変化していくなかで課題や求められるものも変わるため、現状から支援のあり方を考えていくこと、一人ひとりにあつた支援をしていくことがすごく大切だと感じました。「ジェンズ問題が浮き彫りになったことで若い人の相談が増えていく」というお話を聞き、私自身も身近な問題であるということを確認しました。そして、何かをきっかけに声をあげられる社会、相談しやすい環境になればいいなどあらためて思いました。(松田)



◆お問い合わせ先  
**特定非営利活動法人  
 オカヤマビューティサミット**  
 HP: <https://okayamabs.org>  
 会 岡山市中区湊467-15  
 電 086120612700

## 日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償!!

令和6年度

# ボランティア活動保険

商品パンフレットは  
**コチラから**  
(ふくしの保険ホームページ)



新型コロナウイルス感染症の感染症法上の分類が5類感染症に変更されたことに伴い、「特定感染症重点プラン」を廃止して2つのプランとします。

### 保険金額・年間保険料 (1名あたり)

団体割引20%適用済 / 過去の損害率による割増適用

保険金の種類	プラン	基本プラン	天災・地震補償プラン	
	ケガの補償	死亡保険金	1,040万円	
後遺障害保険金		1,040万円(限度額)		
入院保険金日額		6,500円		
手術 保険金		入院中の手術	65,000円	
		外来の手術	32,500円	
通院保険金日額		4,000円		
賠償責任の補償	特定感染症	補償開始日から補償*		
	地震・噴火・津波による死傷	×	○	
	賠償責任保険金 (対人・対物共通)	5億円(限度額)		
年間保険料		350円	500円	

\*特定感染症についても10日間の免責期間がなくなり、補償開始日から補償対象となります。  
 なお、令和5年5月8日以降、新型コロナウイルス感染症は補償対象外となりました。

### <重要>

- ◆基本プランでは地震・噴火・津波に起因する死傷は補償されません。
- ◆年度途中でご加入される場合も上記の保険料となります。
- ◆中途脱退による保険料の返金はありません。
- ◆途中でボランティアの入替や、ご加入プランの変更はできません。
- ◆ご加入は、お1人につきいずれかのプラン1口のみとなります。



### ボランティア行事用保険

(傷害保険、国内旅行傷害保険特約付傷害保険、賠償責任保険)

### 送迎サービス補償

(傷害保険)

### 福祉サービス総合補償

(傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険(オプション))

●このご案内は概要を説明したものです。詳細は、「ボランティア活動保険パンフレット」にてご確認ください。●

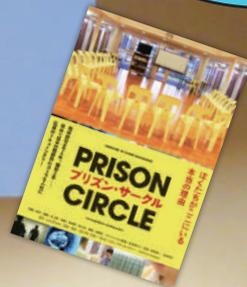
団体契約者 **社会福祉法人 全国社会福祉協議会**  
〈引受幹事〉 損害保険ジャパン株式会社 医療・福祉開発部 第二課  
〈保険会社〉 TEL: 03(3349)5137  
 受付時間: 平日の9:00~17:00(土日・祝日、年末年始を除きます。)  
 この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約です。

取扱代理店 **株式会社 福祉保険サービス**  
 〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F  
 TEL: 03(3581)4667  
 受付時間: 平日の9:30~17:30(土日・祝日、年末年始を除きます。)



サンクチュアリ  
「まちの生きづらさを語り合う  
地域と福祉の  
コミュニティフォーラム」  
～映画「プリズン・サークル」  
上映イベント開催～

矯正施設を退所した方等の地域での暮らしをサポートする  
地域生活定着支援センターが仕掛ける新しい取組レポート。



◆地域生活定着支援センター  
取組報告（触法高齢者・障がい者支援に関する普及啓発事業）  
令和6年1月20日（土）／岡山  
山コンベンションセンター

刑務所の映画ではなく、  
私たちの映画

「よくこれだけの人が集まりましたね。」会場を訪れた司法や福祉関係者に多数お声かけいただいたこの日は、本会地域生活定着支援センター（以下「本センター」）にとっても記念すべき日となりました。映画「プリズン・サークル」の上映イベントを軸にした本センターの新しい取組「まちの生きづらさを語り合う地域と福祉のコミュニティ・フォーラム」に約300名の県民の皆さんが集まり、活気に溢れていました。

この映画の監督である坂上香さんは、著書の中で「語り合うこと（聴く事／語り合う事）の可能性、そして沈黙を破ることの意味やその方法を考えるための映画だ」と述べられており、この日も「これは刑務所の映画ではなく、私たちの映画です。」と語ってくれました。

映画の舞台となるのは刑務所（島根あさひ社会復帰促進センター）です。その映像を通して、私たちが見るのは、そこで

われている受刑者同士が、自分の罪や過去の経験を「対話」することにより内省を深め、人間的な成長を実現しようとする「TTC（Therapeutic Community）」回復共同体」という矯正施設での教育プログラムの生々しいドキュメンタリーです。

そこに映る、罪を犯した人同士の語り合い、対話場面は、この映画を観る人に、これまでの罪を犯した人への先入観を圧倒的に覆されるような強烈な印象とともに、私たちが住む地域社会にとって「対話の場」「安心して語れる場」がいかに大切かということを教えてくれているように思えました。

映画のテーマとなる「TTC」では、この「安心して語り合える場」を「サンクチュアリ」と呼んでいましたが、上映後に開催したトークイベントでは、「私たちのまちにはそんな「まちの生きづらさ」を安心して話せる場があるだろうか？」という問題提起がなされました。（写真参照）

また、トークイベントでは、坂上監督をはじめ、矯正施設退所者を長年支援して来られた伊豆丸剛史さん（厚生労働省社会・援護局矯正施設退所者地域支援対策官）、法務教官の長橋さん（岡山少年院）にご登壇いただき、コーディネート者の竹端寛さん（兵庫県立大）からの「なぜ、刑務所で対話の場が必要なのか？」「言葉にすることがなぜ大事なのか？」など、

映画「プリズン・サークル」・・・日本国内の刑務所に初めてカメラを入れたドキュメンタリー。監督は「Lifers ライファーズ 終身刑を超えて」などアメリカの受刑者をテーマにした作品を手がけてきた坂上香さん。制作：out of flame 2019年配給：東風 劇場公開日：2020年1月25日

そのやり取りは、参加した皆さんの価値観を揺さぶり、人によっては、「もやもや」した感覚を抱かせながらも、それぞれに今後の支援や地域づくりに向けた希望が得られた場になったのではないかと思います。

### 集まった参加者の声

この日会場にいられたのは、更生支援に関心ある一般県民の方、刑務所や少年院、保護観察所で働く方、保護司の方、出所者をサポートしている方、福祉関係者等幅広い立場の方々が参加されており、トークイベントの後の質疑応答では、多くの参加者からの声をいただきました。

ある参加者からは、「自分の友人が刑務所にいる。出てきた時、どんな声をかけたら良いか？」という質問があり、登壇者の長橋氏から、「一緒にご飯を食べに行つてあげてください。」とのアドバイスをいただくやり取りもあり、印象的でした。また、ある20代の参加者はアンケートに「今の私には良いことと悪いことの判断をするのは難しい。色々な人と出会って、経験して自分の持つ価値観を理解してからもう一度この映画を見たいなと思う。でも、今このときに見られて心から良かった。」という嬉しい声もいただきました。

### 地域共生社会に向けた福祉教育へ

「これは福祉教育ですね。」と、ある社協職員から感想をいただきました。本センターにおいてもこの取組は、福祉教育のひとつだという手応えを感じています。地域共生社会の実現に向けて、令和3年4月施行となった「重層的支援体制整備事業」では、どのような困難や生きづらさでも支援の対象となるとして、特に住民同士が気にかける関係性を育むための「地域づくりへの支援」が重視されています。

一方で地域社会の実情は、住民同士の関係が希薄化し、困りごとがあっても、誰にも相談できず、

助けを求めることもなく周囲から孤立する人・世帯が増え続けています。地域共生社会の実現には、制度の変革と併せて、地域住民の意識や価値観、そして行動の変容が必要不可欠といえます。その意味で、本センターでは本フォーラムのような福祉教育の取組は、欠かせない要素であると考えています。今後も「誰もがいきいきと住みなれた地域で暮らせる社会」を目指して、本フォーラムのような取組を展開していきたい、改めてそう感じる取組となりました。

#### ◆お問い合わせ先

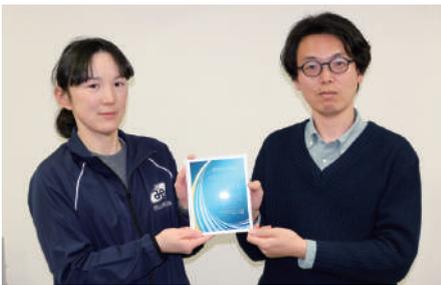
福祉支援部 生活支援班  
岡山県地域生活定着支援センター

TEL 086-226-2840

### 保健福祉学会にて、審査員奨励賞を受賞！

令和6年1月22日、きらめきプラザにて、第28回岡山県保健福祉学会が開催され、本会福祉支援部の小武守主査と西村主任が研究発表し、「審査員奨励賞」を受賞しました。

発表内容は、「司法と福祉の連携による矯正施設退所者への支援」と題して、これまでの岡山県地域生活定着支援センター（本会受託実施）の支援業務について調査分析した成果報告が評価されました。今般の受賞を励みに、地域の相談支援機関として、引き続きソーシャルワーク実践に尽力するとともに、触法者支援の調査研究や司法と福祉の連携に関する普及啓発に努めていきます。



地域生活定着支援センター・・・矯正施設（刑務所・少年院）出所者で高齢または障害のために福祉的な支援を必要とされる方を対象に保護観察所や地域の福祉・医療・保健機関等と連携しながら支援を行う機関。各都道府県に設置されており、岡山県では本会が県より受託して運営。

## どこよりも解りやすい 指導監査の個別指導!

経営幹部の方 / 経理・事務スタッフの方

- Q 役員選任には監事の同意が必要?
- Q 監事は評議員会に出席する義務があるの?
- Q 賞与引当金は必ずしなきゃだめなの?

悩み・疑問を一斉解決!

急な指導監査でも…  
・慌てない  
・困らない  
・揉めない



SCB社協サポート担当 いしはら

株式会社 創明コンサルティング・ブレイン  
SCB 公認会計士・税理士 宮崎 会計事務所

☎ 0120-747-824

受付時間  
9:00~17:30(平日)

〒702-8002 岡山県岡山市中区桑野713番地10  
[HP] <http://www.ssc-scb.com>

ご寄付  
ありがとうございます

令和5年4月〜令和6年3月までにご寄付をいただいた皆様です。本会事業推進に有効に活用させていただきます。

【一般】

- ・(株)アミパラ 様
- ・岡山県農業共済組合 様
- ・JAIF A岡山県協会 様
- ・高山 科子 様
- ・フクシマガリレイ(株)岡山支店 様
- ・鳳凰 敦 様
- ・ミサワホーム中国(株) 様
- ・第九十二回ミサワ会チャリティーゴルフ出席者一同 様
- ・匿名 2名

【物品寄付】

- ・(株)レイ薬局 様

〈ご寄付のお申し込みは…〉

岡山県社会福祉協議会 総務企画部

☎086-2226-2802



岡山県社会福祉協議会 人事異動のお知らせ

異動 令和6年4月1日付

新所属・職名	氏名	旧所属・職名
総務企画部 主幹	矢尾 直子	地域福祉部・経営支援班 主幹
地域福祉部・地域支援班 主幹	中村 勝義	福祉支援部・生活支援班 主幹
地域福祉部・経営支援班 主任	鯨 さやか	福祉支援部・福祉人材支援班 主任
	三宅 啓太	地域福祉部・経営支援班 主事
福祉支援部・生活支援班 主幹	米田 宣和	総務企画部 主査
	林 武文	地域福祉部・地域支援班 主任
岡山県運営適正化委員会 (兼務)主事	鈴木 健	福祉支援部・生活支援班 主事

採用

所属・職名	氏名	備考
福祉支援部・福祉人材支援班 主事	岡 幸奈	(R6.4.1付 新規採用)

退職 令和6年3月31日付

氏名	旧所属・職名	備考
清家 香里	総務企画部 主任	



新任職員紹介



料職業紹介、介護アシスタント促

なり配援人材部社より四月

進事業に関する業務を担当してお  
ります。  
大学では社会福祉を専攻し、地  
域住民の社会参加と主体性の関連  
などについて関心をもって勉強し  
てきました。それを生かし地域づ  
くりに関連したボランティア活動  
に取り組みました。  
趣味はスポーツをすることと旅  
行することです。  
至らない点が多々あると思いま  
すが、先輩方のご指導のもと、日々  
精進してまいりますので、どうぞ  
よろしくお願いいたします。

不動産の無料相談会を県下5か所で開催中

<p><b>岡山地区</b> 毎月第1〜4水曜日 午前10時〜午後3時まで 会場：岡山県宅建会館</p>	<p><b>津山地区</b> 毎月第2金曜日 午前10時〜午後3時まで 会場：津山宅建会館</p>	<p><b>倉敷地区</b> 毎月第1・3金曜日 午前10時〜午後3時まで 会場：倉敷市役所本庁舎1階20番窓口</p>	<p><b>総社地区</b> 偶数月の第2木曜日 午前10時〜午後3時まで 会場：総社市役所</p>	<p><b>笠岡地区</b> 奇数月の第2木曜日 午前10時〜午後3時まで 会場：笠岡市役所</p>
--	---	--	--	--

お問い合せ先  公益社団法人 岡山県宅建物取引業協会  
公益社団法人 全国宅建物取引業保証協会岡山本部  
〒700-0023 岡山市北区駅前町 2-5-28 TEL:086-222-2131

 ※お電話での相談は受け付けておりません。  
※予告なく変更する場合がございます。  
HPでご確認ください。 

5月12日 済世顧問制度創設日  
岡山県下一斉取組

岡山県民生委員児童委員協議会では、岡山県下一斉取組として、「小中学校等あいさつ運動」を平成30年度から毎年実施しています。民生委員制度は、大正6（1917）年5月12日、当時の笠井信一岡山県知事の下、岡山県で公布された済世顧問制度から始まっており、毎年5月12日に県下一斉に取り組んでおります。

学校や県行政、県警察本部、地域の関係者等と連携し、民生委員・児童委員がこの取組を通し子どもたちと顔見知りになることで、見守り等の強化につなげることを目的としています。

活動は学校でのあいさつ運動に留まらず様々な形に発展し展開されています。今年度は12日が日曜日のため、5月13日（月）に実施します。

【パネル展】

5月1日（水）～31日（金）、きらめきプラザ3階 福祉資料室においてパネル展示も開催します。

※5月8日（水）～17日（金）は県庁内県民室で展示予定です。

◆ お問い合わせ先

岡山県民生委員児童委員協議会事務局（地域福祉部）  
086-1226-12835

【報告】令和6年能登半島地震における岡山県災害派遣福祉チーム（岡山DWA T）の活動について

本会では、令和6年能登半島地震において、石川県からの要請に基づき岡山DWA Tの派遣を行いました。1月10日～3月30日の期間、チーム員延べ40名が石川県七尾市、輪島市で活動を行ないました。

石川県では甚大な被害を受けた地域が複数の市町におよび、多くの避難所が開設されたことから、全国から多数のチームが派遣されることとなりました。このため、これまでの活動で経験した一つの避難所での滞在型の活動とは別に、複数の避難所を巡回する支援や、各避難所で活動するDWA Tへの後方支援も求められました。

特に輪島市において、岡山DWA Tは地域リーダーとして市担当課等との各種調整や、市内で活動するDWA T全体のスケジュール管理等も行なうなど、主にコーディネートやロジスティクスの機能を担うこととなりました。今回が初の活動となるチーム員も多いため、他県チームも含めた全体の調整を担うことは大変さも多くなりましたが、各チームへのサポートが被災者への円滑な支援にも繋

がっていたのだと思います。

現地では今もなお避難所や仮設住宅での生活を余儀なくされている方が多くおられます。被災された皆様が一日でも早く普段の暮らしを取り戻せるよう願いながら、この度の活動を今後の取組に活かしていきたいです。



他県DWA Tと打合せ時の様子（輪島市）



◆ お問い合わせ先

地域福祉部 経営支援班  
086-1226-13529

楽しく、心地よく働ける介護職のお仕事を探します。 医療・福祉専門職 人材紹介・派遣事業 株式会社リスコ



RISUCO

話そうよ 咲かそうよ

医療・福祉専門職 人材紹介・派遣事業 株式会社リスコ  
〒700-0985 岡山市北区厚生町3-1-15 岡山商工会議所ビル8階  
【厚生労働省許可番号】 紹介 (33-コ-300017) 派遣 (派33-300044)

0120-235-565

電話受付 / 平日9:00~18:00 <https://www.risuco.com>



【Okayama福祉・介護フェス2024】(7月27日開催)

岡山県福祉・介護人材確保対策推進協議会では、介護職員の確保に向け、「入職者を増やす」取組や「働きやすい職場づくり」などを推進しています。今年度も、11月11日の介護の日に先立ち、福祉・介護のお仕事の魅力を知っていただくきっかけとなるよう、WEBサイト『Okayama福祉・介護フェス2024』を開設します。

令和6年度は、新たにOkayama福祉・介護魅力発信アンバサダーに岡山出身アーティスト土師伊久美さんに就任していただく等、様々な広報活動を展開予定です。

7月27日(土)、コンベックス岡山(岡山市北区大内田)では、『Okayama福祉・介護フェス2024』イベントを開催します。

小中高生・保護者また幅広い世代に対し、福祉・介護の仕事体験し、楽しく親子で参加できるプログラムを実施展開します。また、会場では、ステージイベントやワークショップ、キッチンカーなど関係機関と連携して開催します。同時開催「フクシラボおかやま」は事前申込制です。詳細は、岡山県福祉人材センターホームページをご覧ください。



おかやま☆フクシ・カイゴ職場「すまいる宣言」認証制度

県内の福祉・介護事業所が自らの人材育成や就業環境の改善など働きやすい職場環境づくりに積極的に取り組む事業所を登録し、公表するおかやま☆フクシ・カイゴ職場「すまいる宣言」制度は、平成31年度に創設されました。

令和5年度は、前期3法人31事業所、後期6法人97事業所が新たに登録認証されました。これまでに38法人523事業所が、すまいる宣言登録認証されています。

登録法人の理念や運営方針、新規採用職員の育成、キャリアパス人材育成、給与体系、職場環境、地域貢献などの取組を公表しています。法人として、職員が安心して働くことができる事業所であることのPRを行い、学生・求職者にとって働きやすい職場選びができるため、就職活動の参考となります。本会では、すまいる宣言法人の先進的な取組や求人情報等をご紹介しています。この制度を通して、新たな人材の確保や職員の定着が期待されます。



令和5年度 新たに登録された9法人をご紹介します。

- 30 社会福祉法人 ことぶき会
- 31 社会福祉法人 恭和会
- 32 社会福祉法人 ももぞの学園
- 33 株式会社アール・ケア
- 34 社会福祉法人 淳邦会
- 35 社会福祉法人 リンク
- 36 社会福祉法人 愛育福祉会
- 37 社会福祉法人 四ツ葉会
- 38 社会福祉法人 瀬戸内福祉事業会

令和2年度に初回登録し、令和5年度に更新した法人(6法人93事業所)など詳しくは、おかやまフクシ・カイゴWEB「すまいる宣言」ホームページをご確認ください。



おかやま☆フクシ・カイゴ職場 すまいる宣言

<https://smile.okayama-fukushikaigo.jp/>

認証制度、新規申請に関すること等は、岡山県福祉人材センターへお問い合わせください。  
☎086-226-3507

旅行研修のご相談は **Tikiナビ** まで **トラベル**

Tiki Tikiナビトラベル ☎086-261-1550

- 岡山市南区洲崎2-6-33
- FAX: 086-261-8011
- 営業時間: 9:30~18:30
- 定休日: 土日祝日
- 岡山県知事登録2-388
- 総合旅行業務取扱管理者: 加藤大毅

人気防災グッズ各種販売中

もしもの時のために備えて安心!!

防災用品は準備できていますか? 再確認しましょう。いざという時のために早めの準備を。

株式会社 チチキ CHIJKI PROJECT

〒701-0221 岡山市南区藤田566-185 (藤田企業団地内)  
☎(086) 296-0555 (代) / FAX (086) 296-0606  
E-mail: okayama@chijiki.com

# 赤い羽根共同募金

ありがとう!



岡山県共同募金会

令和5年度の「共同募金運動」ならびに「歳末たすけあい運動」につきましては、県民の皆さまより温かいご支援、ご協力をいただき、誠にありがとうございました。

下記のとおり、募金実績等を報告いたします。

## 令和5年度募金実績

### 共同募金運動

保育所や障害福祉サービス事業所等様々な福祉施設の設備・備品や車両整備費、児童養護施設入所児童等の支援、ボランティア・NPO団体などを含む福祉関係団体や社会福祉協議会が行う地域福祉活動などに活用され、さらに大規模災害の発生にも備えます。

**募金総額 264,139,571円**

### 歳末たすけあい運動

地域で行われる慰問事業や配食サービスをはじめ、福祉関係団体の活動や障害者福祉施設などの備品整備などに活用されます。

**募金総額 53,102,343円**

【内訳】  
地域歳末たすけあい 47,861,517円  
NHK歳末たすけあい 5,240,826円

## 令和5年度共同募金配分（令和6年度実施事業分）

令和5年度に県民の皆様からお寄せいただいた募金について、下記の通り配分を決定し、4月16日に共同募金配分交付式を開催して、対象の86施設・団体に対し配分決定通知書を交付いたしました。令和6年度に各配分先において有意義に活用されます。

また、今後配分決定する事業もありますので、本会ホームページをご覧ください。



(岡山県共同募金会 HP)

配分先・事業	配分額（円）
民間社会福祉施設（21件）	14,170,000
県域福祉関係団体（21件）	5,960,000
県・市町村社会福祉協議会（28件）	155,630,000
赤い羽根ボランティア団体・NPO活動支援事業（1件）	320,000
赤い羽根共同募金「地域ささえあいプロジェクト」（12件）	11,440,000
NHK歳末たすけあい2次配分（3件）	1,590,000
合計（86件）	189,110,000



## ありがとうメッセージ（令和5年度実施事業）



### グループホーム スプリングカムカムほっぷ1（赤磐市）

共同募金の助成により、新しい洗濯機を購入させていただき、入居者の生活環境がぐっと改善しました。より清潔に衣類や寝具を洗えるようになり、入居者は快適に生活を送ることができています。

また、衛生管理面でも、感染症のリスクを減らすことができています。

入居者の自己管理能力も向上しました。洗濯の方法を学びながら日常生活のスキルを伸ばしています。

皆様の温かいご支援が私たちのグループホームにとって大きな助けとなりました。本当にありがとうございました。

vol.63  
「ふくし」の  
仕事人たち

社会福祉法人 岡山県視覚障害者協会  
地域生活支援事業所みちしるべ

歩行訓練士 岸本 和宣さん

～歩くこと、実現したいことには  
自分の気持ちと相談しながら  
挑戦して行ってほしい～



●歩行訓練士（視覚障害生活訓練等指導者）…  
目の不自由な人への歩行訓練や日常生活に必要な動作・  
技能の指導を行う職種。

ー現在の仕事内容について教えてー

「みちしるべ」では、目の見えな  
い方、見えにくい方が白杖を使っ  
て安全に移動できるように、自宅周  
辺・通勤や通学路・室内での歩行  
訓練を行っています。また、音声  
でのスマートフォンやパソコンの  
操作・点字・調理・掃除等の日常  
生活に必要な動作訓練も実施して  
います。

白杖を使って歩くというと、杖  
を頼りに歩いていると思われるか  
もしれませんが、実際は、車の音  
などを聞く「聴覚」・白杖から手に  
伝わる「触覚」等や時には太陽の  
光を肌で感じる「温覚」等の『視  
覚以外の感覚』を活用しながら歩  
いています。そうした感覚を利用  
しながら、一人ひとりの頭の中に  
地図（メンタルマップ）を作る手  
助けをしています。

ー福祉の仕事の魅力を見せてくださいー

目が不自由になって、やりたいこ  
とを諦めていた方が、再び「諦めな  
くてもいい」と思える瞬間に立ち会  
えることです。  
ある方が、見えにくさから、ポツ  
トのお湯を注ぐことができなくなり  
ご家族が電化製品を操作するよう  
なっていました。  
この方には、ポットのボタンに触

って分かる「シールのクッション」  
を貼ることで、ボタンの位置が認識  
でき、再びご自身で使えるようにな  
りました。

手段は変わっても、ほんの少しの  
工夫で目的が達成できることがあり  
ます。また、できないことが少しで  
もできるようにすると、次のやりた  
いことに繋がりが、気持ちが前に進ん  
でいきます。決して諦める必要はな  
いと改めて感じる瞬間です。

ー今後についてー

福祉の仕事は、「思わぬところに  
共通点がある」と感じています。私  
は学生時代に音楽を専攻にしていま  
した。音楽は、相手の音を聞き『時  
には合わせたり・時には引っ張った  
り・時にはしっかり支えたり』しな  
がら、一緒に作っていきます。分野  
は違いますが、相手の様子を肌で感  
じながら進めていく感覚は、音楽で  
培われたのかもしれない。

これからも、「押し付けすぎず、  
でも、引きすぎず、相手のその気持  
ちに合わせながら」共に歩んでいき  
たいと思っています。

【お問い合わせ先】  
社会福祉法人岡山県視覚障害者協会  
地域生活支援事業所みちしるべ  
●岡山市北区西古松268-1  
☎：086-1250-19912



機関紙「岡山県社会福祉」へのご意見・ご感想をお寄せください!

ご意見・ご感想をいただいた方の中から3名様にももるんじゃーグッズをプレゼントします。

機関紙へのご意見・ご感想、住所、氏名、年齢をご記入の上、下記までお送りください。

- 郵 送：〒700-0807 岡山市北区南方2丁目13-1 きらめきプラザ3階  
岡山県社会福祉協議会 広報班
- FAX：086-227-3566 まで

なお、当週の発表は  
商品の発送をもってかえさせて  
いただきます。

